



□ 尾崎神社とさざんか通り

笠幡のシンボル景観である尾崎神社は、高麗街道と呼ばれる道に接し、樹齢300年余りの杉の神木を始めとする深い緑が森閑とした神社の雰囲気をつくりあげている。このあたりは下の宿、あるいは神田宿とも呼ばれるが、近年地区の人々によりサザンカの生け垣が造られており、「さざんか通り」の愛称で呼ばれる。年々成長が楽しみな景観である。

